

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第55号	氏名	山田正彦
学位審査委員	主査	藤井弘之	
	副査	戸田一雄	
	副査	藤原 卓	
論文審査の結果の要旨			
<p>1、研究目的の評価 本研究は、軟食化が咀嚼機能の発育に及ぼす影響を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2、研究手法に関する評価 摂食機能・嚥下機能の学習低下モデルとして液状飼料飼育マウスを使用し、咀嚼中の下顎運動および咀嚼筋筋電図の解析から咀嚼機能を評価した。これまで不可能であった、小動物を用いての多元的な機能評価を行ったことは、研究目的に対する研究手法も妥当である。</p>			
<p>3、解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、液状飼料飼育マウスは咀嚼リズムおよび筋活動パタンの食性による変化が弱いことが明らかになった。これは、軟食化によって、食品の性状を認識する能力、顎運動の調節機構に欠陥が生じたことを意味している。今後の、咀嚼機能の発達のメカニズムの解明が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように、本論文は咀嚼機能の発達に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			